

C—83 被服構成(洋裁)教育法における一考察
—パトロン使用と作図使用について—

相模女大学芸 ○磯上 育子
浅利 和子

1. 短期大学家政科における洋裁授業に関しては種々の問題点があげられると思います。第一問題としては授業内容(作品の数)と授業時間(単位数)の関係と考えられます。少ない時間にいかなる教授法をとれば理想的効果があげられるかを究明したい目的でその一方法として裁断の際作図使用とパトロン使用の能率効果を知りたいと考え本実験を試みた。

2. スカート作製にあたり120名を被験者にして作図とパトロンで同じ条件のスカートを制作させその所要時間、補正の有無、補正の個所、できあがりの型の良否、着ごこちの状態、被験者の心理状態、中・高の被服制作経験との関係などを比較検討してみた。

3. 作図使用に比べてパトロン使用の場合は裁断所要時間が短かく、試着の場合は、補正個所少なくできあがりの型の良否はなく、着ごこちの良否なく制作時の被験者の心理状態においては、大多数が不安なく裁断ができたとの結果が明らかになった。なおこれから他の種々の作品について考察してみたいと思います。